

---

## 情報工学部の入学者受入れの方針

---

### 【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。情報工学部は、情報通信工学科、情報システム工学科、人間情報工学科の3学科で構成され、情報工学の知識を基盤に、電子・通信工学、機械工学、人間工学等の関連工学分野の知識を複合的に修得し、豊かな教養と人間性に基づいてそれらを総合的に活用し、グローバルな視点と主体性・協調性をもって人間及び環境との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指します。

### 【入学者に求める能力・素養】

情報工学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

### 【入学者選抜の基本方針】

情報工学部の各学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。各学科の高等学校等で修得すべき具体的な内容や入試区分・方法・評価基準については、各学科のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

---

## 情報通信工学科の入学者受入れの方針

---

### 【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術(ICT)を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、ICTの利用者視点を理解するとともに、豊かな教養と人間性に基づくグローバルな視点から主体性・協調性をもって社会に貢献できる技術者の育成を目指します。

### 【入学者に求める能力・素養】

情報通信工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科:物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学:数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力

国語:文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な(文章)表現力

情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

### 【入学者選抜の基本方針】

情報通信工学科では、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

## 入学者選抜における選抜方法及び評価基準

### 【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査(調査書等)により評価します。

#### (前期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報通信工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

#### (中期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報通信工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

#### 【学校推薦型選抜】

面接(試問を含む)及び書類審査(調査書、推薦書)により評価します。

面接(試問を含む)では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

書類審査(調査書、推薦書)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

#### 【帰国生入試】

面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

#### 【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験(日本語、理科(物理必須)、数学)では、情報通信工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

---

## 情報システム工学科の入学受入れの方針

---

#### 【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結び付けるインタフェース工学などの学問を修得し、領域横断型のエンジニアとしてのセンスと主体性・協調性をもって、グローバル社会において豊かな教養と人間性に基づき、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる技術者の育成を目指します。

#### 【入学者に求める能力・素養】

情報システム工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学:数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力  
英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力  
国語:文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な(文章)表現力  
情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

#### 【入学者選抜の基本方針】

情報システム工学科では、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

#### 入学者選抜における選抜方法及び評価基準

##### 【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査(調査書等)により評価します。

##### (前期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報システム工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

##### (中期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報システム工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

##### 【学校推薦型選抜】

面接(試問を含む)及び書類審査(調査書、推薦書)により評価します。

面接(試問を含む)では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査(調査書、推薦書)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

##### 【帰国生入試】

面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

##### 【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験(日本語、理科(物理必須)、数学)では、情報システム工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

## 人間情報工学科の入学者受入れの方針

### 【教育を通じて発展・向上させる能力】

人間情報工学科は、人間の生活環境を支える情報工学と、人間の能力や特性をモデル化する生体機能学、情報技術をもつくり活かした機器設計学の3つの学問領域に関する深い知識及び技術の活用と、豊かな教養と人間性に基づき、グローバルな視点から多種多量な情報が組み込まれた人間との高い親和性をもつ新たなソフトウェア・ハードウェアの設計・開発ができる技術者の育成を目指します。

### 【入学者に求める能力・素養】

人間情報工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力  
化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力  
数学：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳにおける内容の理解と応用力  
英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力  
国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な(文章)表現力  
情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

### 【入学者選抜の基本方針】

人間情報工学科では、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

### 入学者選抜における選抜方法及び評価基準

#### 【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査(調査書等)により評価します。

#### (前期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ人間情報工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

#### (中期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ人間情報工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

#### 【学校推薦型選抜】

面接(試問を含む)及び書類審査(調査書、推薦書)により評価します。

面接(試問を含む)では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査(調査書、推薦書)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

**【帰国生入試】**

面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

**【私費外国人留学生入試】**

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験(日本語、理科(物理必須)、数学)では、人間情報工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。